

平成17年度事業報告書

法人の名称 特定非営利活動法人多言語社会リソースかながわ (MIC かながわ)

1. 事業の成果

県協働事業では2000件近い派遣実績で助成金3年目を終了、制度構築に向けて着実に実績を積んでいる。また患者アンケートも行い制度構築に結果を反映させたいと考えている。

医療通訳の普及については、医療通訳セミナー・医療通訳を考える全国会議2006を開催、また委託事業として全国10ヶ所で「医療通訳ボランティア研修プログラム説明会」を開催、各地へ医療通訳養成の普及にかけ、ネットワークの構築ができた。

その他、全国から講師派遣依頼等が多く寄せられ、医療通訳に対する関心の高まりを感じた。

2. 事業内容

(1) 特定非営利活動に係る事業

① 医療通訳の養成及び認定に係る事業

- 内容、日時、場所

医療通訳派遣システム構築事業 (かながわボランティア活動推進基金21協働事業負担金助成事業)

1) 医療通訳スタッフの募集

県のたよりに掲載して募集を行い、139名が応募した。書類選考を行った上で、10言語67名に対し研修を行い、最終的に29名が選考を通過した。

2) 医療通訳スタッフの登録

平成2004年度から引き続いての登録者が103名、以前の登録者の再登録2名、今年度の新規登録者が35名(新規言語等の研修講師も含む)、計140名が登録した。

3) 医療通訳スタッフ初任者研修

以下のとおり研修を行った。その結果、最終選考を29名が通過した。

- 第1回 9月3日(土) ①医療通訳派遣システム構築事業 概要の説明 ②講義 医療通訳技術の基礎 ③医療通訳の事例報告
第2回 9月17日(土) ①講義 医療知識の基礎 ②講義 外国人医療の現状 ③講義 医療制度の基礎知識 ④講義 対人援助スキル
第3回 10月8日(土) ①多文化共生を学ぶ ②各言語別ロールプレイ
第4回 10月22日(土) ①各言語別ロールプレイ
第5回 11月21日(月) オリエンテーション

4) 医療通訳スタッフ現任者研修

現任医療通訳スタッフの資質向上のため、全体研修として、課題検討と専門的内容の講義などを行った。

- 第1回 7月30日(土) 「医療通訳とBridging the Gap」 押味貴之(旭川市産業医)
参加者 55名 「通訳心得の再確認」 沢田貴志(港町診療所)
第2回 3月4日(土) 「HIVおよび感染症について」 講師: 沢田貴志 医師

参加者：65名

『アスベストと外国人労働者について』 講師：早川寛 港町診療所

『医療通訳の役割再確認〜がドラインの復習』 講師：沢田貴志 医師

また、日常的な資質向上のため、言語別グループ等の勉強会を以下のとおり行った。：ポルガル語10回、ポルガル語5回、中国語7回、英語6回、タ語8回、タ語2回、病理学6回

5) コーディネーター研修

課題検討や、派遣コーディネーターにおける感染症への配慮などについて研修を行った。

第1回 5月16日(土)「コーディネーター業務に活かす医療通訳の心得」沢田貴志 参加者10名

第2回は 第2回医療通訳スタッフ現任者研修と合同開催

その他 講師派遣など

8月6日(土) 多文化共生センター・きょうと「保健・医療通訳実践講座」保健医療通訳者ための通訳技術

10月13日(木) ちば国際コンベンションビューロー「医療通訳ボランティア研修」

10月15日(土) 在住外国人支援(災害・医療現場でのコミュニケーション) 講座(延岡)

11月25日(金) 埼玉県国際交流協会「専門的通訳ボランティア養成講座」浦和会場

12月14日(水) 埼玉県国際交流協会「専門的通訳ボランティア養成講座」熊谷会場

1月31日(火) 横浜市南区「南区国際理解講座」第2回「外国人支援者からの体験談」

2月8日(水)、15日(水)、22日(水) 群馬県多文化共生推進室「群馬県デジタルインタープリター養成講座」

2月18日(土) 19日(日) 3月11日(土) 12日(日) 長野県「医療通訳養成講座」

2月24日(金) 神奈川県保健福祉部生活援護課「身元引受人及び自立アドバイザー会議」

- ・ 従業員人員 40名 ・ 対象者 医療通訳スタッフを志望する者、医療通訳スタッフおよびコーディネーター
- ・ 支出額 ①事業合計 1,477,961円

② 医療通訳の派遣

- ・ 内容1. 医療通訳派遣システム構築事業(かながわボランティア活動推進基金21協働事業負担金助成事業)

1) 医療通訳スタッフの派遣

協力病院(16病院)からの通訳派遣の依頼にもとづき、コーディネーターが医療通訳スタッフを派遣した。

表) 言語別実績

医療機関	中国語	スペイン語	ポルガル語	ハングル	タ語	英語	カンボジア語	ベトナム語	ラオス語	合計
済生会神奈川	37	47	6	3	16	40	78	0	0	227
横浜市民	31	0	0	0	0	7	6	0	0	44
社保横浜中央	73	5	0	15	0	0	29	0	0	122
市大センター	25	55	12	9	17	0	1	0	0	119
県立循環	0	29	2	1	3	2	0	0	0	37
県立こども医	25	18	38	0	5	11	18	0	0	115
聖マリアンナ	2	9	10	0	12	15	1	0	0	49
太田総合	11	208	16	0	0	0	42	0	0	277
川崎市立川崎	0	29	0	0	4	0	7	0	0	40
総合病院衣笠	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
茅ヶ崎徳洲会	0	3	1	0	0	0	0	0	0	4

東海大学	2	291	200	2	4	5	6	0	0	1	511
海老名総合	6	75	65	6	4	14	6	0	3	0	179
厚木市立	1	49	8	0	0	0	2	0	0	0	60
北里大学	7	133	3	0	2	8	9	1	0	0	163
県立足柄上	0	11	10	0	0	0	0	0	0	0	21
合計	220	962	371	36	67	102	205	1	3	1	1968

病院別・診療科別実績

	済生会神奈川	横浜市立市民	社保横浜中央	市大センター	県立循環病セ	県立こども医	聖マリアンナ	太田総合	川崎市立	総合病院衣笠	茅ヶ崎徳洲会	東海大学	海老名総合	厚木市立	北里大学	県立足柄上	合計
内科	32	13	19	3	1	2	9	69	5	0	1	103	38	9	29	10	343
外科	15	4	2	1	0	12	1	4	4	0	0	73	3	13	16	0	148
形成外科	0	0	0	7	0	0	0	0	1	0	0	17	1	0	4	0	30
耳鼻咽喉科	12	2	5	11	0	4	2	58	5	0	0	20	17	0	16	0	152
リハビリテーション	0	0	0	0	0	14	0	0	0	0	0	9	0	0	0	0	23
神経内科	0	0	0	5	0	11	1	2	0	0	0	1	0	0	3	0	23
その他	4	2	19	30	32	23	4	0	4	0	0	34	7	0	14	0	173
小児科	24	3	2	15	0	7	2	20	0	0	1	61	32	5	8	0	180
脳神経外科	6	0	1	1	0	1	0	2	0	0	1	6	1	3	1	1	24
産婦人科	82	15	21	31	0	6	12	55	17	0	0	68	57	16	10	10	400
皮膚科	7	0	0	4	0	0	1	10	1	0	0	35	5	1	18	0	82
放射線科	0	0	17	0	0	0	0	0	0	0	0	14	0	0	0	0	31
精神科	0	0	0	8	0	16	2	0	0	0	0	40	0	0	0	0	66
消化器科	0	1	2	3	0	0	1	0	0	0	0	21	0	0	0	0	28
整形外科	33	4	9	6	0	3	8	62	0	0	0	47	5	2	12	0	191
眼科	18	0	9	0	1	21	0	7	0	0	0	5	6	4	21	0	92
泌尿器科	5	2	3	0	0	2	2	2	0	0	1	11	10	1	5	0	44
麻酔科	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	3
歯科	4	0	15	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	20
合計	242	46	124	126	34	122	45	291	38	0	4	567	182	54	157	21	2053

2) コーディネート業務

かながわ県民センター2階「県民の声・相談室」の第3ブースにて15名のコーディネーターが当番制で月～金曜日、9時～12時/13時～16時、コーディネート業務に就いた。

コーディネーター会議を毎月1回開催し、通訳派遣に関する連絡、課題検討を行った。

3) 検討協議会の設置・参加

「医療通訳派遣システム検討協議会」および検討部会として行政・医療合同部会（10月27日（木）、3月22日（水）、に開催）を設置、将来の費用負担等について検討した。

4) 関係機関との連絡調整

協働の相手である県国際課と4月19日、6月14日、2月17日に調整会議をもった。

- ・ 日時 2005年4月1日から2006年3月31日まで
- ・ 場所 神奈川県内 ・ 従業員人員153名 ・ 対象者 医療通訳を必要とする協力病院16

内容2 医療通訳派遣事業

1) 医療通訳スタッフの派遣

横浜市内の医療機関へ医療通訳スタッフの派遣を行った。04年度まで通訳の派遣費用財源であった助成金がなくなったため派遣件数が大幅に減る予想だったにもかかわらず、各病院の努力等により、多くの派遣実績をあげることができた。医療通訳にかかる経費について医療機関側の理解が深まった成果とみなされる。依頼は403件、派遣386件。

2) 費用負担

医療機関に医療通訳受け入れにあたっての説明をした上、同意を得てから、医療通訳スタッフの派遣を行った。費用負担については以下のとおり。その他の病院は患者負担。

病院負担：県立衛生看護専門学校付属病院（夕見台病院）、県立がんセンター、国際親善総合病院、港町診療所、横浜栄共済病院、横浜市立大学医学部付属病院、

協力会員：横浜南共済病院（年5万円：月2件平均）

- ・ 日時 2005年4月1日から2006年3月31日まで
- ・ 場所 横浜市内 ・ 従業員人員153名 ・ 対象者 医療通訳を必要とする協力医療機関等15

病院別・言語別派遣実績一覧

病院名	スペイン	ポルトガル	中国語	イングル	タガログ	英語	タイ	ベトナム	他	計
県立衛生看護専門学校付属病院	126	4	7	1	1	3	0	0	0	142
県立がんセンター	10	0	0	0	0	0	0	0	0	10
国際親善総合病院	0	0	24	0	4	2	0	7	0	37
国立病院機構横浜医療センター	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
昭和大学横浜市北部病院	0	0	3	0	1	0	0	0	0	4
済生会若草病院	15	0	0	0	0	0	0	0	0	15
聖マリアンナ横浜市西部病院	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
港町診療所	46	0	1	45	0	0	0	0	0	92
横浜市立大学附属病院	42	0	0	1	0	0	1	0	0	41
横浜新緑総合病院	0	8	0	0	0	0	0	0	0	7
横浜南共済病院	16	0	1	0	0	0	6	0	0	23
戸塚共立第2病院	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1

松島病院	4	0	0	0	0	0	0	0	0	4
横浜市総合リハビリテーションセンター	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
金沢病院	0	0	0	0	0	2	0	0	0	11
合計	252	11	38	2	6	3	7	7	0	331

内容3 その他の医療通訳派遣

上記2事業で対応しない医療機関等や言語について、医療通訳スタッフを派遣した。依頼84件、派遣78件。うち、県立精神医療センター・荊香病院、都立大塚病院、東海大学病院（協働事業対応言語外）、県立こども医療センター（協働事業対応言語外）、港南福祉保健センター、県立総合療育相談センター、十条通り医院、横浜市立脳血管医療センター、国立病院機構南横浜病院、県立婦人相談所は、通訳派遣費用を派遣先機関が負担した。

- 日時 2005年4月1日から2006年3月31日まで
- 場所 神奈川県内および東京都内
- 従業員人員 63名
- 対象者 内容1、内容2の事業で対応しない医療機関
- 支出額 ②事業合計 8,924,850円

③ 災害時・緊急時の通訳等に関する活動

- 内容1 一般通訳派遣事業
- 「かながわ一般通訳支援事業」を神奈川県国際課から受託、通訳協力者の派遣コーディネーターおよび研修を行った。

通訳協力者研修

- 〔日時〕 2006年3月16日（木）14:00～16:00
- 〔場所〕 神奈川県民活動支援センター
- 〔内容〕 「児童相談所～外国籍児童とその親が抱える問題～」
- 〔講師〕 横浜市南部児童相談所 指導係長 嶋津常弘
- 日時 2005年4月1日から2006年3月31日
- 場所 神奈川県内
- 従業員人員 35名
- 対象者 日本語を母語としない外国籍県民および通訳を必要とする公共機関

- 内容2 神奈川県消防学校救急隊員教育訓練事業外国語講座へ講師派遣
- 日程 7月14日（木）、1月13日（木）（英語・中国語・スペイン語）
- 場所 神奈川県消防学校
- 従業員人員 4名
- 対象者 救急救命士教育訓練講座受講中の者 250名
- 支出額 ③事業合計 766,270円

④ 日本語を母語としない住民のための健康相談による地域の健康促進活動

- 内容 日本語を母語としない住民のための健康相談会
- 港町診療所、神奈川県等の主催による健康相談会に、広報、通訳派遣などの協力を行った。
- 日時及び場所

① 川崎・貝塚カトリック教会 5月15日

④ カトリック藤沢教会 12月4日

② 大和カトリック教会 9月25日

⑤ 鶴見福祉保健センター 1月22日

③ 中華街・横浜華僑キリスト教会 10月16日

・ 従業員人員 35名 ・ 対象者 日本語を母語としない住民461名

・ 支出額 ④事業合計 160円

⑤ 日本語を母語としない方や外国籍住民がスムーズに医療につながる事ができるための医療制度の研究・提言及び人権に関する啓発事業

・ 内容1. 医療通訳派遣システム構築事業（かながわボランティア活動推進基金21協働事業負担金助成事業）多文化共生社会推進事業 医療通訳セミナーの開催

医療通訳派遣システム普及事業（地域国際化協会等先導的施策支援事業補助金）

全国から総勢205名の参加で盛会、各メディアにも取り上げられた。

・ 日時 1月28日（土）10時30分～17時「医療通訳セミナー・医療通訳を考える全国会議2006」

交流会 17時10分～19時（立食による顔の見えるネットワークづくり）

・ 場所 かながわ労働プラザ ・ 従業員人員 39名

・ 対象者 医療通訳に関心のある全国の行政職員、国際交流協会、通訳ボランティア、一般の方

・ 内容2

・ 医療ソーシャルワーカー研修

・ テーマ：「外国人医療のためのソーシャルワーク」 講師 高山 俊雄（ひまわり診療所）

・ 日時 平成18年2月18日（土） 14:00～17:00

・ 場所 かながわ県民活動サポートセンター 会議室402号室

・ 従業員人員 13名 ・ 対象者 医療ソーシャルワーカー 19名

その他、講師・委員派遣等

6月25日（土）、10月1日（土）かながわ外国人すまいサポートセンター「行政相談窓口職員多言語対応&

相談能力向上研修検討委員会」

7月2日（土）いのくら「おカネ・ことば・いのち～外国人医療の原点を問う～」

7月21日（木）横浜市立病院MSW業務連絡会「医療通訳ボランティア派遣」

8月6日（土）多文化共生センター・きょうと「多文化保健医療サポートセミナー京都2005」持続可能な医療

通訳システムとは

8月22日（月）東邦大学医学部学生 来訪

9月15日（木）横浜市国際交流協会「共生のまちづくりネットワークコーディネーター研修」

9月25日（日）社）国際日本語普及協会（AJALT）秋田県地域コーディネーター研修

10月1日(土) 在住外国人支援(災害・医療現場でのコミュニケーション) 講座(延岡)

11月15日(火) 県立金沢総合高校「ガイダンスI(産業社会と人間)」

11月26日(土) 労住医連「外国人の医療講座(医療ソーシャルワーカー対象)」

11月 東京都結核予防会「外国人結核患者のためのコミュニケーター活用」事業のためのヒアリング

神奈川県社会福祉協議会「神奈川県地域福祉活動計画実態調査」アンケート協力

2月6日(月) NHK国際放送局「NHK World ラジオジャパンフォーカス」日本の医療通訳の現状

NHK国際放送局制作センター「News Today Asia」NHK ワールドTV(海外向け放送)、NHK衛生第一「日本で活躍

するアジア人」取材

厚生労働省エイズ対策研究事業「NGOによる個別施策層の支援とその評価に関する研究班」医療ソ

シャルワーカー向けの外国人診療ハンドブック 全国通訳派遣団体リスト調査協力

・支出額 事業⑤合計 3,571,885円

⑥ 日本語を母語としない住民のための暮らしや子どもに関する相談活動

相談員派遣

・内容 医療通訳派遣などから派生する日本語を母語としない住民の生活に密着したさまざまな相談に
対応する。

・日時 2005年4月1日から2006年3月31日 ・場所 MIC かながわ事務局

・従業員人員 6名 ・対象者 日本語を母語としない住民等 63名 ・支出額 0円

⑦ 日本語を母語としない住民の定住化に伴う課題への対応についての行政や地域で活動する団体への

連絡、助言又は援助の活動

・内容、日時、場所

東邦大学医学部学生 来訪 8月22日(月)

第2回 国際交流・協力実践者全国会議 参加 8月28日(土)、29日(日)

神奈川県立外語短期大学 来訪 8月31日(水)

(財)自治体国際化協会 委託「医療通訳ボランティア研修プログラム説明会」9月22日(木)しまね国際セ
ンター、10月6日(木)宮崎県国際交流協会、10月29日(土)徳島県国際交流協会、11月19日(土)山口県
国際交流協会、12月9日(金)大阪府国際センター、12月10日(土)京都市国際交流協会、1月14日(土)北方圏
センター、1月15日(日)和歌山県国際交流協会、2月23日(木)茨城県国際交流協会、3月8日(日)神奈川県
国際交流協会、計10ヶ所

8月31日(水)神奈川県立外語短期大学 来訪

9月9日(水)第二回ラテンアメリカ人のこころの問題支援者意見交換会参加

9月14日(水)大阪大学留学生センター 大谷氏他3名 来訪

9月27日(火)3月20日(月)かながわ県民活動サポートセンター「協働事業意見交換会」参加者派遣

9月29日(木)神奈川県人権センター第16回神奈川県人権研究交流集会 講師派遣

10月28日(金)神奈川県自治総合研究センター「NPO等活動交流研修」講師派遣

東京都結核予防会「外国人結核患者のためのコミュニケーター活用」事業のための資料提供協力

千葉大学学生「在日外国人への医療・福祉の制度づくり」調査研究インタビュー

神奈川県国際交流協会「地域における多言語情報流通にかかわる調査・研究プロジェクト」研究会

- ・従業員人員120名
- ・対象者 この法人の活動に関心のある者 多数
- ・支出額 事業⑦合計0円

⑧ 日本語を母語としない住民の生活支援につながる翻訳事業

- ・内容 以下の機関・団体等からの依頼に基づき、翻訳を行った。なお、この事業については今後の取り扱いについて理事会で検討していく。

開成町：「あしがら郷」パンフレット（英語、ポルトガル語、中国語、ロシア語）

神奈川県立保健福祉大学：出産についてのパンフレット（英語、スペイン語、中国語、タイ語、カンボジア語）

神奈川県シテュニオン：通知書（スペイン語）

みどり多文化センター：みどり多文化フェスタのチラシ（スペイン語）

横浜市衛生局感染症・難病対策課：HIV・クラミジア検査案内（英語）

神奈川県環境計画課：「もったいない」作文コンクール（英語）

- ・日時 2005年4月1日から2006年3月31日
- ・場所 MIC かながわ事務局
- ・従業員人員10名
- ・対象者 法人の事業活動に理解のある団体および個人6名
- ・支出額 事業⑧合計 343,910円

⑨ その他この法人の目的を達成するために必要な事業

- ・講師派遣、原稿執筆など、内容、日時、場所は以下のとおり

テクニカルアドバイザー蟹沢成好横浜市立大学医学部名誉教授 就任

医療通訳派遣システム構築事業全体にかかる活動

ニュースレターの発行 郵送やE mail で会員等にニュースレターを6回発行。

シェア＝国際保健協力市民の会 外国人健診10周年記念誌 執筆

あーすフェスタ 5月14日（土）15日（日）展示ブース出展

多文化共生センター・きょうと「在住外国人および保健・医療通訳者のための情報支援WEBサイト作成

に関する調査 協力 8月

横浜北労働基準監督署「労働条件調査」

8月2日（水）京都市国際交流協会ヒアリング／ 9月12日（月）手話通訳者からのヒアリング

9月27日（火）かながわ県民活動サポートセンター「協働事業意見交換会」参加

10月2日（日）第10回横浜弁護士会人権賞受賞

10月3日（月：予定）まちづくり情報センターかながわ「市民活動団体への経済的課題解決のための運営

支援の方策検討調査」協力

10月19日（水）医療通訳研究会「告知・終末医療場面での医療通訳者に関する研究：医療通訳者の

代理受傷」ヒアリング協力

10月28日（金）神奈川県自治総合研究センター「NPO等活動交流研修」講師派遣

11月15日（火）神奈川県立金沢総合高校『ガイダンスⅠ（産業社会と人間）』働く人にイノベーション

1月27日(金) アルパック(株) 地域計画建築研究所「安心安全な生活環境づくりにおける事例調査として」 ヒアリング対応

2月18日(土) ふれんず金沢「医療通訳システムの構築をめざして」講師派遣

アメリカ人のこころの問題支援者の意見交換会-藤沢・湘南地域を中心とした課題について 参加
カイン「在日フィリピン人生活ハンドブック」情報掲載/横浜市市民局「暮らしのガイド外国語版」情報掲載

イカロス出版株式会社「通訳・翻訳ジャーナル」2月号 特集「いろいろな通訳」取材協力

かながわボランティアセンター情報誌「ル・ル・ル」68号コラム「ボランティア・市民活動と専門職が

ながるとき」

民主党NPO局「災害救援・防災」における市民活動実態調査 調査票協力

神奈川県立かながわ女性センター研究情報課「団体・グループ情報データベース」情報掲載

横須賀市役所国際交流課「外国人向け生活ガイド」情報掲載

言語交流研究所ヒッポファミリークラブ パンフレット情報掲載

・ 従業員人員 20名

・ 対象者 この法人の活動に関心のある者 多数

・ 支出額 3,120,080円